

仙台市太白山自然観察の森情報誌

No. 222

2 森のおくりもの

2010年 2月号



雪の中の沢で見たヤマシギ

イラスト：嶋 孝弘（塩釜市）

一年中で一番寒い時期となりました。センター周辺では寒さに負けずけなげにもナズナやオオイヌフグリが花を咲かせています。また、ベニマシコ、カシラダカ、ミヤマホオジロ、アオジ、シメ、アトリたちも、姿を見せてくれています。双眼鏡の先の彼らたちのために、日がな一日楽しむのは如何でしょうか。もちろん完全武装して・・・。

（武智）

見分けよう！ タカのなかま

先日、センター入口の市道側の藪から突如オオタカが現れました！スズメが一斉に騒ぎ出して振り返ると、私から1m位の至近距離をものすごいスピードで飛び去ってしまいました。オオタカの放つ気迫、スズメ達の緊張、緊迫した野生の世界に圧倒されました。

今回は、そんなカッコいい！！タカの仲間の見分け方をご紹介します。

過去18年で確認された猛禽類ランキング

(※確認回数…センター職員が巡回等で確認した回数を集計したものです)

★ 第1位 トビ
(1438回確認)



大きさ ハシブトガラスよりずっと大きい。

特徴 全身赤っぽい黒褐色。尾がバチの形をしていて閉じると凹形になる。翼の下面の先近くに白い模様がある。

★ 第2位 ノスリ
(172回確認)



大きさ 雌はハシブトガラスより少し大きい。

特徴 ずんぐりした体形で、やさしい顔をしている。尾は短く、先は半円形。翼の下面の先の方に暗褐色の模様がある。また、脇に、「はら巻き」のような暗褐色の模様がある。

★ 第3位 オオタカ
(86回確認)



大きさ ハシブトガラスくらいの大きさ

特徴 幅の広い短い翼と長い尾を持つ。頭上や上面は暗青灰色。下面は白く、黒褐色の細い横じまがある。眼光鋭く、白い眉がかっこいい。尾に4本の黒帯があり、尾の先はとがりぎみ。

上記のほかに、ハイタカ23回、ツミ7回、フクロウ8回、コチョウゲンボウ等も確認されています。図鑑等によると、タカ類を見分けるには、①大きさを見極める、②飛び方を覚える、③ボリュームを感じるという3つのステップに留意し、種の特徴を覚えていくのがポイントとなるようです。確認回数の多い上記3種からぜひトライしてみてください。

【文・イラスト：咲間】

クイズ？

【もんだい】トビは主に動物の死骸等を食べ、オオタカは主に生きた鳥等を食べます。では、ノスリの主食は次のうちどれでしょうか？

(A) 虫



(B) 魚



(C) ネズミ



【答えは、5ページ】

みんなで自然観察

イベント報告
フィールドサイン

1月30日の自然観察会「フィールドサイン」のガイドは、私が担当しました。雪上のアニマルトラッキングを期待していた方もいたと思いますが、残念ながら積雪はありませんでした。そのかわり、それほど寒くもなく、気持ちよく森の中を歩けました。観察したフィールドサイン（動物たちが活動した痕跡）は、ニホンリスの巣、アズマモグラの塚、ヒミズの巣穴、オニグルミにつけられたニホンリスによる食痕、ニホンカモシカの角とぎ跡と糞塊、トウホクノウサギの糞などでした。これらは当日みんなで探したのですが、あらかじめ用意しておいた森のエビフライ、オニグルミにつけられたアカネズミによる食痕、ニホンカモシカの角なども、一緒に観察してもらいました。トウホクノウサギの糞は非常にたくさん落ちていました。1日で約300粒の糞をするので、いったんある面積の糞をすべて取り除き、翌日新しい糞の数を数えると、ウサギの生息密度がわかります。また、リスは1頭で5つくらいの巣を使うので、巣の数からリスの生息密度が



ニホンリス
(冬毛)



トウホクノウサギ
(冬毛)

わかります。誰かやってみませんか？カモシカやリスはたまに見かけますが、ウサギの姿を見ることは、ほとんどありません。フィールドサインは、ふだん見ることのできない動物たちの生活を知る重要な手がかりなのです。今回参加されなかった方、冬の森を体験したことの無い方も、冬のうちに是非おいでください。葉の落ちた冬の森では、リスや小鳥たちの巣がよく目立ち、誰でも簡単に見つけることができます。カモシカの角とぎ跡も、トレイル沿いにたくさんあります。そして、森の動物たちの存在を感じ取ってください。



ニホンカモシカの角とぎ

角をといでいるのではなく、木に傷をつけ、そこに眼下腺分泌物をこすりつけ、マーキングしている。

【文・イラスト: 林】

2月 館長の独り言

四季の中で一番寒い時期がやってきた。できることなら熊のように穴にこもって冬ごもりをし、暖かくなったら出てきて仕事なぞとできもしないことを考えながらお山（太白山）を双眼鏡をぶら下げて観察のため歩いていると、カサコソと結構大きな音がするのでカモシカでも餌を探しているのかなと思い、立ち止まって動かずにいると、

ガビチョウ（画眉鳥）が何か人間がぶつぶつ独り言を言うように小さい声で鳴きながら枯葉をくちばしでひっくり返し、ひっくり返し近づいてくる。

ガビチョウはもともと中国南部から東南アジア北部に生息し、体の大きさがヒヨドリ位の大きさに、目の周りは京劇の役者が隈取をしているようにしろくなっているので一度見ると忘れることは無いと思うのだが、センター周辺でも結構大きな鳴き声で鳴くので、知らないお客さんはびっくりして、鳥の名前を聞かれることが結構ある。

さえずりを楽しむために中国では非常にポピュラーな飼育鳥で、一般的に飼われており、鳴き合わせ会も頻繁に行われているが、確か中国の長春市を訪れ、早朝、南湖公園を散歩していたとき、おじいさんたちが公園の一角に集まり、木々の枝に竹製の籠を吊るし、めいめいお茶を飲みながら鳥の鳴き声を楽しんでいたのを思い出す。

しかし、今では外来種で結構あちこちで増えているため、外来生物法により、同法施行以前から飼育を継続し、届出を出している者以外の愛玩、観賞目的での飼育は禁止されている。ガビチョウが藪で餌を探しながらぶつぶつ独り言を言っていたのは多分、人間の勝手に遠方まで連れてこられ、狭い籠に入れられながらも、鳴き声で皆を楽しませていたのに、鳴き声が大きいとか等のせいで今では厄介者扱いされるのは心外だといっていたのではないかと推測される。皆さんはどう思いますか。



ガビチョウ【チメドリ科】

クイズのこたえ

③ ネズミ



ノスリはネズミなどの小哺乳類を主食とし、その他カエル、ヘビ、昆虫、鳥なども食べます。小鳥たちは、タカの怖さを種類ごとによく知っていて、小鳥の反応でタカの出現が分かることがあります。

作品募集!



「第8回 みんなでつくる里山あーと展」

～今年もみなさんのお気に入りの作品をお寄せください。～

- <テーマ> 仙台市近郊の自然や野生の動植物に関するもの
- <募集期間> 平成22年2月2日(火)～28日(日)
- <募集内容> 写真の部 2Lプリント 5点以内
絵画の部 10号以下の作品 2点以内
クラフトの部 2点以内

◎展示期間 平成22年3月4日(木)～3月28日(日)

◎会場 仙台市太白山自然観察の森 自然観察センター研修室

*詳しくは自然観察センターまでお問い合わせください。



2月の催し



「ガイドウォーク」

2月のテーマは『森とけものたち』です

7日, 14日, 21日, 28日 (毎週日曜日)

10:00～11:30

12月～3月は、午後の部はありません。

★申し込み不要です
自然観察センター前にお集まりください。

森の講話会

「太白山周辺に生息する動物たち」

太白山周辺に生息する動物たちについて、研修室内でお話を聞きます。

2月27日(土)

13:30～15:00

【定員】40名(先着)

申し込み⇒ 2月6日9時から電話にて

休館日

1日, 8日, 15日, 22日,

♪森へおいでください♪

宮城交通バス

仙台駅前バスプール7番 または 長町駅前から
山田自由ヶ丘車庫 行きに乗り
公営アパート前 で下車、徒歩15分でセンター

車

国道286号線の山田交差点から太白団地方面へ。
道々の案内板に従って約10分で駐車場へ。徒歩5分でセンター



定期購読のお知らせ

住所・氏名・電話番号と、何月号から希望かを明記のうえ、80円切手12枚を同封して、自然観察センターまでお申し込みください。

2010年2月号(毎月1回5日発行)

発行:(財)仙台市公園緑地協会

編集:仙台市太白山自然観察の森 自然観察センター

〒982-0251 仙台市太白区茂庭字生出森東36-63

TEL: 022-244-6115 FAX: 022-244-6133